

船舶事故等調査報告書

平成25年1月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

| | |
|-------------|---|
| 事故等番号 | 2012広第123号 |
| 事故等種類 | 衝突（棧橋） |
| 発生日時 | 平成24年4月3日（火） 13時05分ごろ |
| 発生場所 | 広島県尾道糸崎港尾道駅前棧橋 広島県尾道市所在の尾道灯台から真方位302° 260m付近 （概位 北緯34° 24.2′ 東経133° 11.6′） |
| 事故等調査の経過 | 平成24年7月9日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。 |
| 事実情報 | |
| 船種船名、総トン数 | 旅客船 シトラス、19トン |
| 船舶番号、船舶所有者等 | 250-11652広島、個人所有 |
| 乗組員等に関する情報 | 船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 |
| 死傷者等 | なし |
| 損傷 | 本船 左舷旅客乗降用タラップに曲損及び左舷外板に亀裂 棧橋 なし |
| 事故等の経過 | 本船は、船長ほか1人が乗り組み、尾道駅前棧橋南側に左舷着けで着棧して乗客を降ろした後、強くなってきた風波を避ける目的で同棧橋の北側に移動するため、係留索を放して離棧しようとしたとき、突風の影響で船体が動揺し、平成24年4月3日13時05分ごろ左舷側船尾の旅客乗降用タラップが棧橋に衝突した。 本船は、尾道駅前棧橋の北側へ移動して係留された後、修理された。 |
| 気象・海象 | 気象：天気 雨、風向 西南西、風力 5、視界 良好 本事故発生時には、広島県全域に強風注意報、尾道市などに波浪注意報が発表されていた。 海象：潮汐 下げ潮の末期、波高 約1.5～約2m |
| その他の事項 | 本船には防舷材が備え付けられていた。 船長は、テレビで気象情報を入手していたが、尾道水道は、悪天候時に他の船舶が避難してくる場所なので、余り風波は強くないと思っていた。 広島地方気象台は、暴風及び高波などに関する地域気象情報を4月2日～4日の間に延べ11回発表しており、広島県呉市及び福山市では日最大瞬間風速の観測極値が更新されるなどの記録的な気象状況であった。 |
| 分析 | |
| 乗組員等の関与 | なし |

| | |
|---|---|
| <p>船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p> | <p>なし あり 本船は、尾道駅前棧橋から離棧作業中、風の影響で船体が動揺したことから、左舷側船尾の旅客乗降用タラップが棧橋に衝突したものと考えられる。</p> |
| <p>原因</p> | <p>本事故は、本船が、尾道駅前棧橋から離棧作業中、風の影響で船体が動揺したため、左舷側船尾の旅客乗降用タラップが棧橋に衝突したことにより発生したものと考えられる。</p> |
| <p>参考</p> | <p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 風波が強くなることが予想される場合は、早めに安全な場所へ避難すること。 |